

《高効率ファイバカップリング光学系：HFC》

—特に近赤外発光素子の広角度に発散する光束を高効率に光ファイバに取り込むための光学系—

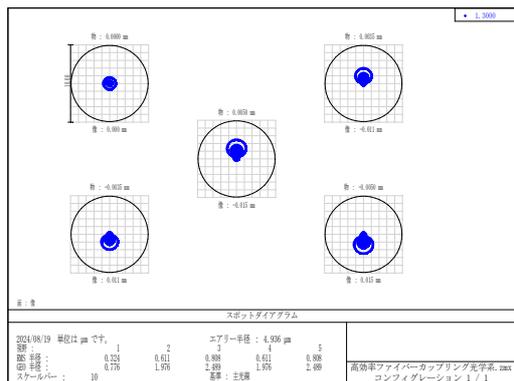
LD素子やSLD素子の広角度な発散光を効率良く光ファイバに取り込みたい、というお客様の声から生まれた

＜高効率ファイバカップリング光学系：HFC＞

＜非球面レンズの採用でほぼ無収差の集光光学系を実現（近赤外領域）＞

＜全角57.4°の光束を取り込み、シングルモードファイバに高効率集光＞

非球面レンズを採用したことで、非常に広い角度に発散する発光素子（LDやSLD等）の光束を取り

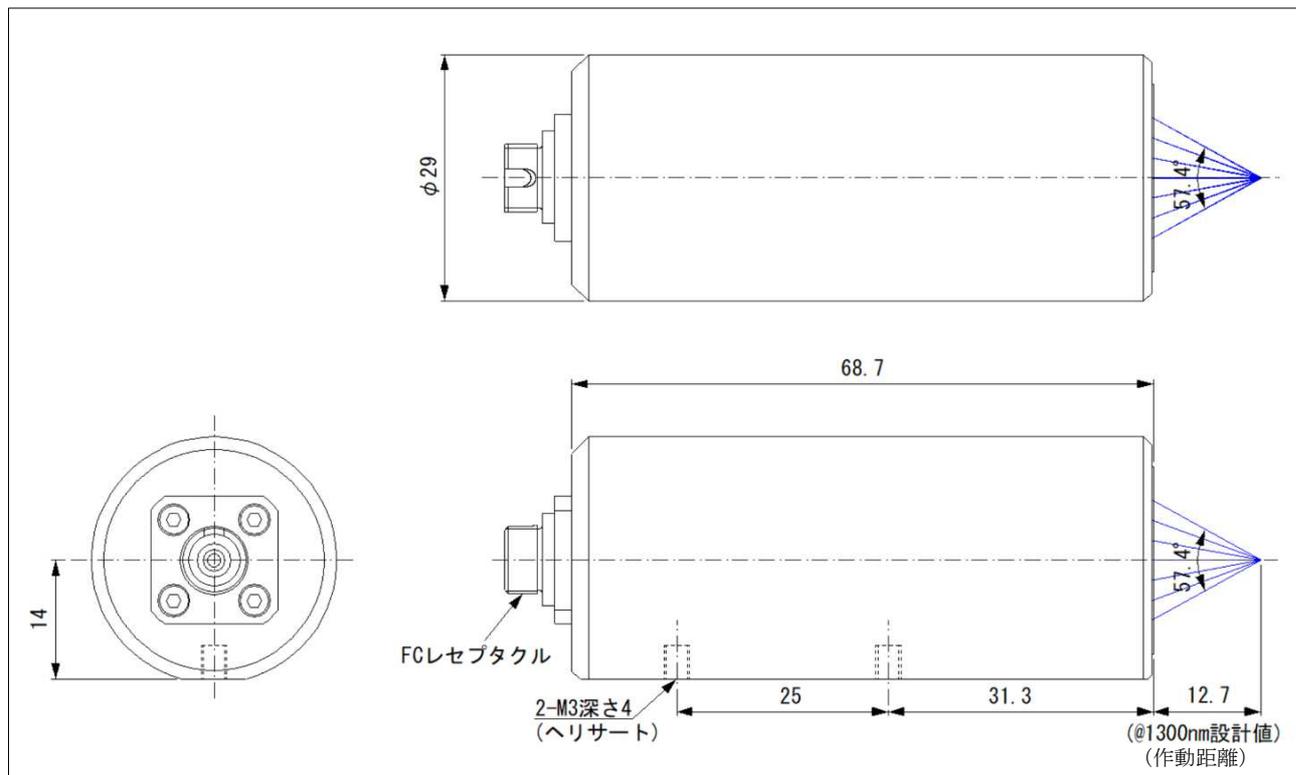


込みながらも、非常に小さな領域に集光を可能とする

「ほぼ無収差な光学系（左図「スポットダイアグラム」をご参照ください）」を実現しています。従って、特にシングルモードファイバへのカップリングに強みを発揮します。

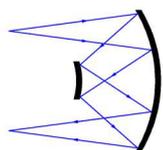
しかも、作動距離（発光素子から鏡筒端面までの距離）は、10mm以上（例えば「12.7mm：@1300nm」）を確保しており、素子との容易なカップリングが可能です。「FC型」の他、各種レセプタクルに対応。お客様のご使用波長や条件に合わせて最適化した光学系を設計・製作します。

スポットダイアグラム：@1300nm（エアリーディスク内を実現）



＜高効率ファイバカップリング光学系外観図例：@1300nm＞

●改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございますのでご了承ください。



株式会社 オプトメカ エンジニアリング

〒434-0015 静岡県浜松市浜名区於呂3923-10

TEL/FAX: 053-583-0682

Eメール: optomecha_engin@star.tnc.ne.jp

ホームページ: <https://opto-mecha.com>